

会社はいったい病人を何人 出したら気がすむのか！

安全を度外視！運転士を精神的な病に追い込む会社！

大阪第二運輸所分会の五十嵐光久さんが、車掌業務でのささいな事象をもって、乗務終了後、現場管理者により1時間30分におよぶ事情聴取を受けました。

その内容は、会社が五十嵐さんに対して虚偽の報告をしたと一方的に決めつけ、五十嵐さんを「うつ状態、2週間の自宅療養が必要」と診断されるまで精神的に追いつめました。

五十嵐さんは、昨年11月ボーナスカット裁判で証人に立って以降、大阪第二運輸所住田運転科長らから執拗な嫌がらせを受けていました。そして、今回車掌業務における些細な事柄を取り上げられて事情聴取を受けました。その中で黒岩営業科長は「五十嵐さんの言っていることは信用できない」と決めつけ、「**ビデオでもまわさないとダメなのか**」と警察の取調べ以上の対応をし、**人権を無視した暴言をあげせました**。そして、そのことにより五十嵐さんはうつ状態になりました。

会社は、いったい何人の乗務員を精神的な病に追い込んだら気が済むのでしょうか？

会社によるJR東海労組合員に対するパワーハラスメントを絶対に許すわけにはいきません。

異様で異常な会社対応！

**黒岩科長はパワハラやめなはれ！
直ちに五十嵐さんに謝罪せよ！**